

Chiba Rosai News

千葉ろうさいニュース

Vol.29

令和3年10月

先行高度治療室（HCU）開設を迎えて



目次

②

先行高度治療室（HCU）開設を
迎えて

③

増改築工事の進捗状況について

④・⑤

看護師特定行為の推進

⑥

10月採用ドクター紹介

⑦

連携登録医のご紹介
医療法人社団 真裕会
林クリニック

⑧

当院の理念

発行責任者／岡本美孝

発行／千葉労災病院

<https://www.chibah.johas.go.jp>

〒290-0003 千葉県市原市辰巳台東2丁目16番地

TEL.0436-74-1111 FAX.0436-74-1151

先行高度治療室（HCU） 開設を迎えて

重症・救命科部長 山 本 奈 緒

当地域では今後高齢化が進み、高度急性期病床が不足するという試算から当院ではいわゆるスーパーICUおよびHCUの設置を予定しています。

諸般の事情により今年度下半期よりHCUを先行稼働させる事になりました。

HCUは「High Care Unit」の頭文字をとったものであり、日本語では「高度治療室」や「準集中治療管理室」と訳され、一般的にICUと一般病棟の中間に位置する病棟とされています。

HCUに入室する患者は「①救急外来から直接入室」「②手術後管理のために入室」「③ICUから転室」などのパターンが想定されます。

看護配置基準7対1の一般病棟では、夕方以降などの時間外に予定手術が終了・帰室したり、それと同時に緊急入院が立て込む場合があり、現状大きな負担となっております。そのような点の改善を目的とするのが①②です。

さらに昨今では重症度の高い患者も多く、ICUから一般病棟へ退室する前にHCUを介することで、段階的に集中治療や看護の密度を緩めていく、そうすることで、より安全で質の高い急性期ケアが期待されるとするのが③です。

したがってHCUでは受け入れる患者の重症度や疾患が幅広く、一般病棟と比較して容体も変化しやすい一方で、患者は覚醒しており心身の多様な苦痛を伴うため、関わるスタッフにおいても高度なアセスメントや対応力などのスキルや経験が求められるのが特徴と言えます。

HCUを先行稼働させることで、比較的重症度の高い方の治療回復過程に応じた適切で快適な治療環境を得られ、患者・家族が安心して療養できるように体制を整えていくよう努めて参ります。



増改築工事の進捗状況について

現在、当院では増改築工事を行っていますが、その進捗状況についてお知らせいたします。
工事は大きく分けて3ヶ所で進めています。

1 | 中庭棟

- 講演会などを行う多目的ホールを含めた2階建ての建物を新設
➡ 外装が完成し、内装工事を行っているところです。令和3年度内のオープンを予定しています。

2 | 新リハ棟

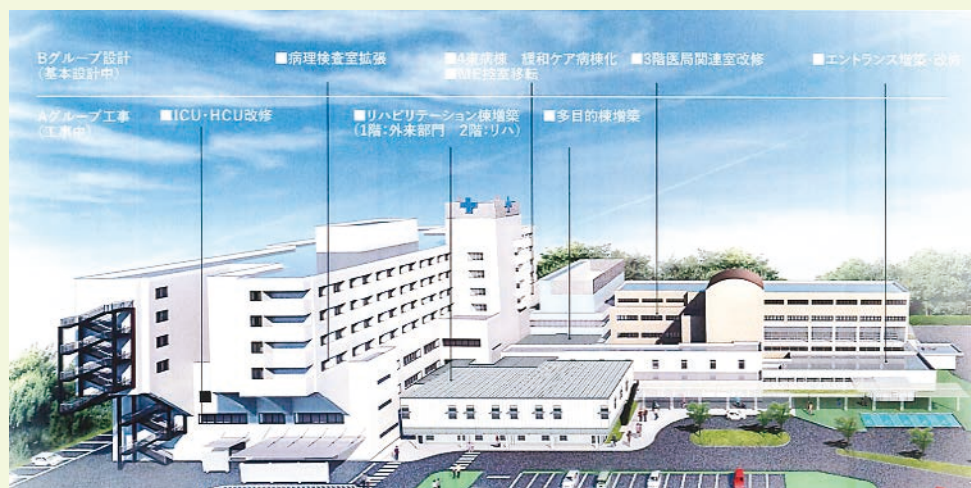
- 1階売店のそばに健康診断部門、歯科口腔外科、精神科等の外来、2階にリハビリ部門を配置した2階建ての建物を新設
➡ 外装工事を終え、内装工事に着手しています。現在入院棟2階にあるリハビリ部門をICUとHCUに改修する計画となっていることから、まずは新リハ棟2階のリハビリ部門が先に完成します。2階のリハビリ部門は令和3年11月にオープンの予定です。
1階の歯科口腔外科、精神科、健康診断部等の外来は11月以降順次内装工事を行い、令和4年5月にオープンの予定です。

3 | ICU・HCU

- 入院棟2階のリハビリ部門を、より面積を広く取ったICU、全身管理が必要な患者さんを収容するハイケアユニット（HCU）に改修
➡ ICU及びHCUは、令和3年11月に着工し、来年3月にオープン予定としています。ICUは6床でベッド周りの面積を広く取り、HCUは12床設置します。感染者用の個室もICUとHCUにそれぞれ1室ずつ設置する予定です。

来年3月以降も、4東病棟を緩和ケア病棟に改修するとともに、エントランス付近の待合スペースの拡張や、患者相談部門の集約化、正面玄関の移設、外来トイレの増設などを計画しています。工事は令和4年度末まで続きますが、新型コロナへの感染対策を徹底しつつ、安全に最大限配慮しながら工事を進めてまいります。

工事期間中は騒音等により皆様には何かとご不便をおかけいたしますが、ご理解とご協力の程、よろしくお願いいたします。



看護師 特定

チーム医療を推進し、看護師がその役割をさらに発揮するため、2014年6月に「特定行為に係る看護師の研修制度」が創設されました。2015年3月には、制度の詳細が定められた省令および施行通知が発出され、10月より厚生労働大臣が指定した教育機関で研修制度が開始されました。2019年より独立行政法人労働者安全機構本部でも研修機関となり、当院も2020年より演習・実習を行う協力病院として、特定行為を実践できる看護師を育成しています。

特定行為とは、診療の補助であり、必要な研修を履修した看護師が医師の指示書に基づいて、医師に代わって行う特定の医療行為です。実践的な理解力、思考力および判断力並びに高度かつ専門的な知識および技能が特に必要とされるもので、21区分38行為があります。

地域医療及び高度な医療の現場において、チーム医療のキーパーソンとして医療安全に配慮しつつ、迅速かつ包括的に高度な臨床実践能力を発揮し、医療及び看護の質向上と勤労者医療の貢献につながることを目的としています。当院でも、2019年に1名、2020年には2名が研修を修了し、現在4名が研修を受けています。

特定行為区分

「血糖コントロールに係る薬剤投与関連」「栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連」

石渡 裕美

2019年度
修了

私が特定行為研修を受講したいと思ったきっかけは、糖尿病患者の生活指導を行う中で、「患者に合ったインスリン単位を、指導しているその場で調整できれば良いな。」と感じたことです。そこで、糖尿病の血糖コントロールや薬剤に関する知識を深め、患者の生活状況を考えた上で医師の指示のもとインスリン量が自己で調節できる特定行為研修の「栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連」「血糖コントロールに係る薬剤投与関連」に関する教育課程を受講しました。現在はそのスキルを活かし外来患者さんに対して、インスリン調整を行っています。研修を修了し変化したことは、習得したスキルを活かして患者の全体像を捉えるための観察やアセスメントの視点を身につけ、異常の早期発見に繋がっていることや、医師にインスリン量の調整に関して根拠を持って提案できていることです。そして、医師と協力して患者さんに支援が必要なタイミングを逃さず、個々の患者さんに合った最適な治療の提案を行えるようになりました。



特定行為区分

「呼吸器（気道確保に係るもの）関連」「栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連」

波切 潤

2020年度
修了

私は人工呼吸器に関わる特定行為研修を修了し、ICUに在籍しています。同時に慢性呼吸器疾患看護認定看護師の資格を有する看護師です。そのため日頃より呼吸器疾患のある方に対してどのようにすれば、呼吸状態が改善するか・楽になるか重点をおいて支援しております。ICUに入院する患者さんの多くは人工呼吸

行為の推進

器が装着されていますが、患者さんの状況は短時間で変化することが多く、少ない人数で見ている医師は必ずしも病棟に常にいる訳ではありません。そんな時、患者の訴えや体の動き、検査結果などから呼吸状態を評価し、人工呼吸器設定や人工呼吸器に関わる薬剤の調整を業務の範囲内で速やかに対応することで患者さんが少しでも苦痛が最小限にし、安心・安全に治療が行えるように特定行為に取り組んでいます。特に注意していることは患者さんが理解しやすいよう、説明を行うことを心掛けており、看護師としての気遣いを考慮した関わりを続けていきたいと考えています。

早野 景子

**2020年度
修了**

集中治療室では、人工呼吸器を使用し、呼吸のサポートを行っている多数の患者さんを看護しています。患者さんの状態に合わせて、人工呼吸器の設定変更や、人工呼吸器から離脱ができるように調整していくことは、医療行為のため医師の指示が必要となります。しかし、夜間や外来診療中などで医師がベッドサイドに不在でリアルタイムに調整が行えないこともあります。そのような時、看護師が安全に行えることで、患者さんにとって適切な呼吸サポートを提供することが出来ます。この度私も、特定行為研修を修了することで、定められた範囲内で、人工呼吸器の設定変更や調整を行うことが出来るようになりました。人工呼吸器の必要性を理解し、人工呼吸器使用中の苦痛を抑えながら、重症化予防を図り患者さんが少しでも早く人工呼吸器の必要性がなくなり、安全安心な療養生活が継続できるように、看護師として、特定行為を実践していきたいと思っています。



特定行為区分

「栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連」

山本 美雪・島野友美子・五十嵐典子・露木 郁里

**2021年度
研修中**

絶食状態や消化管に問題がある場合、低栄養状態、脱水の患者に対し、症状や身体所見から輸液による補正、薬剤投与量の調整が実践できるよう、看護師特定行為研修を受講することを決めました。高度な知識や技術を身に付けることができ、大変ですがとてもやりがいを感じながら学んでいます。自己のスキルアップとともに、学んだ事を患者さんへ提供できるよう研修修了を目指して頑張っています。



10月採用 ドクター紹介

形成外科



たまがわ えいき
玉川 栄樹

趣味

ゴルフ、漫画

患者さんへのメッセージ

より良い医療を提供できるように努めます。
よろしくお願いいたします。

呼吸器外科



なかやま こうすけ
中山 浩介

趣味

スノーボード

患者さんへのメッセージ

皆様のお役に立てるように精進させていただきます。
よろしくお願いいたします。

耳鼻咽喉科



みやなが かすま
宮永 一真

趣味

バスケ

患者さんへのメッセージ

より良い医療の提供のため、日々努力していきます。
よろしくお願いいたします。



医療法人社団 真裕会 林クリニック

院長 古矢 裕歩子 先生



医療法人社団真裕会 林クリニック理事長の古矢裕歩子（ふるや ゆほこ）と申します。私は2003年に医師免許を取得後、同年、千葉大学大学院医学研究院細胞治療学（旧第二内科）に入局致しました。大学病院および関連病院での研修では代謝内分秘をはじめ、循環器、血液、呼吸器、神経内科、消化器など様々な疾患について勉強させて頂きました。その後、千葉大学大学院に進学し、大学院では細胞治療学の消化管グループに所属し、主に炎症性腸疾患、消化管疾患を学びました。周りの方々と家族のサポートを受けながら学業と主婦業・育児を両立し、2013年に「炎症性腸疾患とケモカイン」のテーマにて学位（医学博士）を取得することが出来ました。

当診療所は昭和63年に実父が当地に開業し、平成31年より引き継いでおります。有難いことに父の代から継続して通院して下さっている患者さんも多く、その子や孫、最近ではひ孫もかかりつけとして利用いただいております。診療対象疾患は高血圧、脂質異常症、糖尿病などの生活習慣病から、花粉症、便秘症、小児

科領域まで多岐にわたっております。小さなクリニックではありますが、患者さんの身近にあって、何でも相談にのることのできる家庭医、総合診療医を目指し日々奮闘しております。

COVID-19の診療におきましても、一般住民のワクチン接種に加え、発熱外来も行っております。診療所としてできることを積極的に対応しております。

千葉労災病院の諸先生方、スタッフの皆様には救急患者さんの受け入れ、急性期患者さんの御紹介等では大変お世話になっております。この場をお借りしまして御礼申し上げます。引き続き労災病院と強固な診療連携体制を築いていきたいと考えております。今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

医療法人社団 真裕会 林クリニック

〒290-0072 市原市西国分寺台1-14-5

電話番号 0436-23-8849

診療科目 内科・胃腸科・循環器科

診療案内

診療受付		月	火	水	木	金	土	日・祝
午前	9:00~12:00	○	○	○	○	○	○※	休
午後	3:00~ 6:30	○	○	休	○	○	休	休

※午前9:00~午後1:00

千葉ろうさい病院 理念

基本理念

私たちは、地域の人々、勤労者の方々に高度で安全な医療を提供します。

基本方針

1. 患者の権利を尊重し、安全で質の高い医療を提供します。
2. 急性期・予防医療を担う基幹病院として、地域の施設と連携を図り地域医療に貢献します。
3. 働く人々の健康を守り、社会復帰を支援します。
4. 豊かな人間性と高い技能を備えた医療人の育成を図ります。
5. 明るく向上心に満ちた職場をつくります。



病院から見える田園風景。辺り一面に広がっています。

編集 後記

東京2020オリンピック・パラリンピックでのアスリート達の熱い戦いに感動した夏の日々もあっという間に過ぎ去り、今年も残すところ3か月足らずとなりました。

これから新棟の完成を迎え、リハビリテーション部門と集中治療部門の移転・改修が行われます。来春から更に機能が充実した病院の姿を皆様に向けて発信していきますのでご期待ください。

冬に向けて、一人一人が3密回避・手洗い・咳エチケットなどの新型コロナウイルス感染症対策をしっかりと継続していきましょう。

池田 義和（第二整形外科部長）